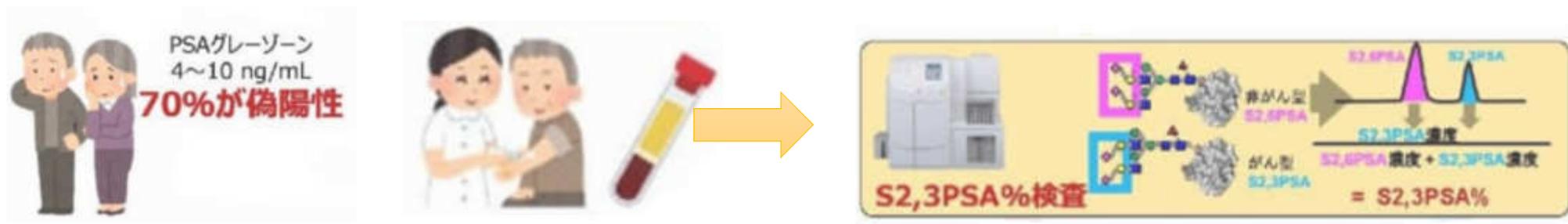


## S2,3PSA% (PSAレクチン結合分画比) 検査とは

前立腺の腫瘍マーカーであるPSAは、値が高いほど前立腺癌の可能性は高くなりますが、グレーゾーン (4~10ng/mL)では、肥大症や炎症で高くなる場合もあります。

近年、PSAの糖鎖構造から正常由来のものと、癌由来のものでは、糖鎖構造が異なることがわかりました。血中のS2,3PSAという構造は前立腺癌では割合が増加することが明らかになり、**S2,3PSA%検査は前立腺癌と良性の前立腺疾患との識別に有用なバイオマーカー (補助診断マーカー)**とされています。



・前立腺癌診療ガイドラインの診療に関するアルゴリズムへもPSA検査後の補助診断検査として、S2,3PSA%検査が掲載され、その有用性について評価されています。